

どんぐり

文字・イラスト 小学部・高等部

丹波市春日町棚原3098-1 TEL: 0795-75-1737

Email: Hikami_shien@pref.hyogo.lg.jp

URL: <http://www.hyogo-c.ed.jp/~hikami-sn/>

【令和6年度 本校の取組を紹介します】

県立氷上特別支援学校では、校訓「自主 友愛 参加」の下、「① つながる力 ② 自分も友だちもええやんって思える力 ③ 生涯役立つ力」を見童生徒につけたい力に定め、様々な取組を行っています。

令和6年度は、「小・中・高一貫したキャリア教育の推進」「つけたい力」を意識した授業づくりの推進」「危機予防・対応が可能な学校づくりの推進」「兵庫県版コミュニティ・スクールを核とした学校づくりの推進」「研修の計画的な実施と内容の充実」を重点課題に位置付け、教育内容の充実や教員の専門性の向上などに取り組んでいます。今回はその取組の一部をご紹介します。

1 兵庫県特別支援学校技能検定

高等部の生徒の就労に向かう意欲を高め、生徒が身に付けた就労に関する力を兵庫県教育委員会が証明する認定資格を交付するための技能検定です。

8月5日(月)午前中に物流・品出し部門が本校を会場として実施されます。

本校の生徒もエントリーする予定ですので、是非、頑張っている姿を見に来てください。

2 兵庫県版コミュニティ・スクール(モデル校)

コミュニティ・スクールは、学校が推進する特色ある取組を学校と地域が連携・協働しながら充実させることを目的としています。本校は、3年目となります。兵庫県版コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の実施にあたり、7名の方に委員をしていただいています。コミュニティ・スクールを核としながら、地域とつながり、交流や体験活動などの教育内容を充実させていきます。昨年度から取り組んでいますeスポー



ツを活用し、本年度はさらに地域の学校園や事業所、地域の皆様とつながっていければと考えています。

3 医療的ケア児への保護者の負担軽減に関する調査研究事業

学校に在籍する日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが必要不可欠である児童生徒等(医療的ケア児)の通学等における保護者の負担軽減について、本年度から調査研究を行います。福祉タクシーに看護師が同乗し、医療的ケア児の通学を支援します。

その他、「企業等と連携したICT人材育成のための指導の在り方に関する調査研究事業」「高等学校DX加速化推進事業」にも取り組んでいます。詳細は、今後お伝えします。日々の教育活動はブログでお知らせしていますので、是非ご覧ください。



(e スポーツの様子)

【様々な業務を担当している部署の紹介をします】

総務部

学校の長寿命化工事も終わりに近づいてきており、5月中旬に市島スクールバスが以前の場所に駐車できるようになりました。少しずつ学校が綺麗になると同時に元の形に戻りつつあります。今年度は、PTA 役員の方々と防災に力を入れていこうと話を進めています。緊急時の対応スキルや安全確保の仕方等を体験や経験を通じて一緒に学んでいきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いします。

今後、バス位置情報や欠席連絡等ができるようなアプリを導入する予定です。現在、登録の仕方や使い方等について調べています。

教務部

教務部は、学校全体の教育課程の統括、教育実習や介護等体験実習などの受け入れ、出席簿等の諸帳簿の管理と確認、図書や教科書の選定管理、人権教育の推進、情報教育の推進、放送や視聴覚機器、コンピュータの管理等を行っています。

また、児童生徒一人一人に合った適切な指導、支援を充実させるため教育課程の見直しを行い、それにともない各学部とも今年度から下校時刻が変更になりました。保護者の皆様にはご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。今後もよりよい指導、支援が学校全体として行えるよう活動をしていきます。

生徒指導部

児童生徒の学校生活や日常生活に関わる諸問題に対応できるような業務を行っています。警察署や地域の交通指導員の方からの協力を受けて、校内や校外の道路での交通安全教室や、サイバー犯罪被害防止教室を実施しています。各学部の児童生徒の代表が中心となって構成される代表委員会では、学校行事やお昼の放送などを通して、校内で活躍する場を支援しています。全校集会や学部集会、有志パフォーマンスなど、必要なことの周知だけでなく個々の活躍や特技が披露できる場を通じて、子どもたちがお互いの良さを感じ、学び成長できるように取り組んでいます。

キャリア教育部



キャリア教育部(旧進路指導部)は、主に高等部卒業後にに向けた出口の指導と、それに向け、各授業において小・中・高で一貫した取組を目指したキャリア教育の推進を行っております。高等部では、年間2回(6月、9月)の現場実習を生徒の実態に合わせて校内、校外で2週間、実習体験を行います。3年生はこの実習で検討を重ね、希望、実態、条件等がマッチングできれば進路先として決定していきます。

また、卒業後の進路先を考える機会として、学年ごとに進路校外学習を計画し、進路先となりうる施設や学校、卒業後必要となってくる相談機関、グループホームなどを見学して、卒業後の自分のイメージを形成していきます。生徒、保護者に対しては、学習会として進路セミナーや進路説明会、研修会などの機会を設定し、進路についての知識や理解を深める機会にしています。



保健部

保健部では、日々の健康観察や定期健康診断で児童生徒の心身の健康状態を把握し、けがや病気の予防の指導を行います。医療的ケアが必要な子どもたちのケアや健康管理についても保護者や看護師等と連携し健やかな学校生活を送れるよう整備します。感染症対策、熱中症対策では、国や県からの通知に基づき、学校生活での留意点を発信していきます。

また、全校集会での保健学習や、月2回の衛生検査(爪切り、歯磨き、耳そうじ)を通して健康・清潔を意識できるよう心がけています。食育の分野では、食育便りや食育掲示板を通しての啓発活動、食育指導を行います。春日学校給食センターとも連携し、食育巡回指導(栄養について等)や給食交流を計画しています。



研修支援部

校務の整理に基づき、昨年度までの教育支援部が今年度より研修支援部に改編されました。新しくスタートした研修支援部には校内と校外の2つの役割があります。

校内では教職員の授業実践力、授業改善力、専門性の向上、資質を高める自立性の向上を目指して、研究・研修を推進します。授業研究のテーマは「つきたい力を意識した授業づくり～児童生徒が主体的に活動できる授業～」で、学校全体で取り組んでいます。また、今年度は外部専門家として大学の教員、PT(理学療法士)、ST(言語聴覚士)、e スポーツの先駆者などを招聘する予定です。教職員の学びを深め、日頃の指導・支援に生かせるようにしていきます。

校外では関係機関と連携し、丹波地域の特別支援のセンター校的作用を果たしていきます。コーディネータを中心に、丹波地域のこども園・小中学校・高等学校の先生方や保護者から教育相談を受け付けています。また、教材展や校内研修を地域の先生方にも公開する予定です。

教職員同士が学び合うことで、より充実した教育内容を考えていきたいと思っています。

【学校行事の紹介】

交通安全教室

4月25日(木)に本校や周辺地域を利用し、校内歩行グループと校外歩行グループに分かれて交通安全教室を行いました。当日は、丹波警察署、国領駐在所、丹波市くらしの安全課、春日町交通指導員の方々にお世話になり、動画や講話での交通安全についての指導をしていただきました。



校内歩行グループは、校舎内に横断歩道や信号機を設置し、渡る前には一旦停止をして「右、左、右」と確認して進むといった本格的な活動ができました。

校外歩行グループは、春日中学校までの道路を歩行し、信号機のない道路の横断では、指導員の方と一緒に左右をしっかりと確認してから横断しました。

交通安全教室で「自分の身は自分で守る」ことを学び、交通安全の大切さを知ることができました。毎日の登下校や日常生活での『安全』に活かしてほしいと思います。



第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

5月26日(日)に第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会が三木総合防災公園で行われました。本校からは運動部5名が参加しました。部活動で走り幅跳びやソフトボール投げの参加種目練習を行い、記録が少しでも伸びるように頑張ってきました。

天候良く、暑い一日となりましたが、たくさんのメダルを獲得することができました。緊張の中、初めて挑戦した生徒や学生生活最後の大会に燃える生徒、それぞれの思いを胸に臨みました。いつもと違う環境の中ではありますが、練習してきたことを精一杯発揮することができたと思います。想像していた結果でなかった生徒もいると思いますが、「チャレンジする心」を大切に今後も頑張っていきたいです。



今年度の学校通信『どんぐり』は、隔月発行となります。

(4月、6月、9月、11月、1月、3月を予定)

毎月の行事予定につきましては、各学部通信または本校HP内「年間・月別行事予定」(QRコード参照)をご覧ください。

